

令和8年1月8日
302会議室

令和8年第1回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

令和8年第1回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和8年1月8日(木)
開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 2時28分
休 憩① なし

2 場 所 302会議室

3 出席者

教育長	飯 田 芳 男	
教育委員	岡 村 幸 保	小 柳 郁 美
	堀 切 菜 摘	戸 田 永 二
署名委員	戸 田 永 二	

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	齋藤 真志	教育総務課長	白井 隆行
学務課長	澤田 克己	指導課長	寺田 良太
統括指導主事	石井 和成	統括指導主事	野津 公輝
教育支援課長	高橋 周	学校給食課長	近藤 忠良
生涯学習推進センター長	鈴木 峰宏	図書館長	黒島 秀和

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係	和田 健治	齋藤 綾乃
----------	-------	-------

案 件

1 協議

(1) 卒業式・入学式「お祝いの言葉」文案について

2 報告

(1) 令和7年第4回立川市議会定例会報告について

3 その他

令和8年第1回立川市教育委員会定例会議事日程

令和8年1月8日

302会議室

- 1 協議
 - (1) 卒業式・入学式「お祝いの言葉」文案について
- 2 報告
 - (1) 令和7年第4回立川市議会定例会報告について
- 3 その他

◎開会の辞

- 飯田教育長 ただいまから、令和8年第1回立川市教育委員会定例会を開催いたします。
署名委員に戸田委員、お願いいたします。
- 戸田委員 承知しました。
- 飯田教育長 よろしくお願いいたします。
本日は、協議1件、報告1件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。
次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。
- 齋藤教育部長 第1回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、石井統括指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

◎協 議

(1) 卒業式・入学式「お祝いの言葉」文案について

- 飯田教育長 初めに、1協議(1)卒業式・入学式「お祝いの言葉」文案について、に入ります。
澤田学務課長、説明をお願いいたします。
- 澤田学務課長 学務課より、令和8年の卒業式・入学式「お祝いの言葉」の構成内容及び文案についてご説明させていただきます。
「お祝いの言葉」について、今年度も基本的な構成内容及び文案のフォーマットを作成しております。「お祝いの言葉」の構成内容は資料に記載のとおりでございます。参考資料として別紙1に、過去5年間の卒業式・入学式「お祝いの言葉」の構成内容一覧を添付しております。
卒業式の「お祝いの言葉」については、令和7年度のトピックスなどを挿入して文案を作成しております。
文字数は、卒業式が600～650字程度、入学式は400～500字程度、書体は昨年度から誰もが読みやすく分かりやすいユニバーサルデザインフォントに変更しております。また、小学校の入学式の文案には振り仮名を振るなど読みやすい工夫をしております。
文案についてですが、卒業式の「お祝いの言葉」につきましては、今回アメリカのプロ野球チームのロサンゼルス・ドジャースに所属している山本由伸選手の野球への向き合い方について触れ、「一番大切なのは野球をしているときの楽しい気持ちを忘れないこと、野球が上手くなるためには練習という努力が必要で、その努力を続けられるようにするためにも、楽しむ気持ちが大切である」といったメッセージを紹介し、立川の学校で学び、地域に根差した学習を終えて巣立っていく子どもたちへ、どのような状況でも楽しむ気持ちを忘れず目標に向かって自分らしく堂々と前進して行ってほしい、自身の人生を切り開いてほしい

しいといったメッセージとしております。

そして、入学式の「お祝いの言葉」については、これから始まる学校生活に不安や期待、希望を持って入学する子どもたちへ向け、エールを送るようなメッセージとしております。

校内掲示及び配布方法については、昨年と同じ地模様の入った白地のA3用紙に印刷して掲示をするるとともに、配布用の用紙はさくら色のA4用紙に印刷をして配布したいと考えております。文字の方向は横書きを予定しております。

本日、教育委員の皆さまにご協議いただいたご意見を反映させた修正後の文案を、2月の教育委員会定例会で再度ご協議いただくことを予定しています。よろしくご協議いただきませうようお願いいたします。

説明は以上でございます。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質問をお願いいたします。小学校の卒業式、中学校の卒業式、小学校の入学式、中学校の入学式という順でお願いできればと思います。小学校の卒業式についていかがでしょうか。

戸田委員。

○戸田委員 ご説明ありがとうございます。

どうしても昨年の話題というアメリカのプロ野球についてが多いと思うのですが、ノーベル賞の受賞など他にもいろいろありましたし、野球のことに余り詳しくないお母さんたちもいると思うのですが、ほかにも例話の候補として挙げた話題はあったのでしょうか。

○飯田教育長 澤田学務課長。

○澤田学務課長 ほかに候補というのは特段挙がっておりません。山本由伸選手が野球への向き合い方についてなどを、各種媒体等で話されており、指導主事の先生に書いていただいた内容にはなるのですが、引用させていただいた次第でございます。

○飯田教育長 いかがでしょうか、戸田委員。

○戸田委員 分かりました。とてもよかったですと思います。ありがとうございます。

○飯田教育長 では、小学校の卒業式については、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 では、続いて中学校の卒業式の文案について、いかがでしょうか。

堀切委員。

○堀切委員 ご説明ありがとうございました。

中学校の卒業式の文案の下から5行目ですけれども、「育ててもらった」というところが少しひっかかるので、なくてもいいかなと思いました。「感謝の気持ちを忘れず」というところはいいと思うのですが、考え方によっては、大人が勝手に産んで、子どもに期待しているだけなので、むしろ育ててくれた子どもに感謝したいぐらいだと個人的には思いますので、「育ててもらった」はなくていいかなと思いました。

以上です。

○飯田教育長 また後ほど、ご提案が出たところで修正についてのお答えをいただくとして、この中学校の卒業式の文案について、ほかにございますか。

岡村委員。

○岡村委員 説明ありがとうございました。

とてもいいなと思いました。勉強というのはつらいものとか苦しいもので、山本由伸選手も相当努力をされて練習もしてということでしょうけれども、楽しむ気持ちがないとやはり続かない、それは勉強にも部活にも通じると思うので、打ち出し方は大変私はいいなと思います。

最近オリンピックの選手の方も、こんなに頑張っている、練習してきましたというだけではなくて、楽しみながらやりましたと言う選手なども多くて、私などの時代とは、感覚がまた違ってきているかなと思います。戸田委員からノーベル賞の話もありましたけれども、ノーベル賞を受賞された方も、大変だけれども興味を持ったことをとことん楽しみながら続けるとおっしゃっていましたので、そういう打ち出し方はいいと思いました。

感想です。

○飯田教育長 では、ほかにも中学校の卒業式の文案についてのご意見いかがでしょう。

では、堀切委員から今提案のありました「育ててもらった」というところについて、澤田学務課長、いかがですか。

○澤田学務課長 ご意見いただきました「育ててもらった」という箇所はなくてもいいのではないかと思うので、「これまで育ててもらった」という部分を削除の方向で、検討させていただいて、2月の教育委員会定例会で修正案をお示ししたいと思います。

以上です。

○飯田教育長 では、また再度2月に協議ということで、よろしくお願ひしたいと思います。

では、小学校の入学式の文案についていかがでしょう。

堀切委員。

○堀切委員 文案について、とてもいいといつも思っているのですけれども、7行目「学校のまわりにも応援してくれる人がたくさんいます。」と書いてあって、そうなのですから、例えば私たちが教育委員として学校に行ったときに、子どもたちから教育委員は何をやっているとの質問をよくされるのです。なので、昨年も申し上げたかもしれないのですけれども、例えば立川市教育委員会は立川市役所にあつて、100人ぐらいの大人が皆さんの学校生活を陰で支え、応援しているのですよというようなことが書いてあるといいと思います。保護者でも教育委員はどこにあるか分からなかったり、どういう人がいて、どれぐらいの規模でということがよく分かっていない人も多いため、そういう内容の一言があるとうれしいなという要望です。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかの委員の皆さま、いかがですか。

小柳委員。

○小柳委員 おそらく何年か前にも申し上げたかもしれないのですが、小学校1年生なので、入学式で、字がいっぱい読めてわくわくしている子もいると思うので、いいと思うのですが、**「限定くるりん」**みたいなイラストなどがあつたら、もっといいのではないかなと思います。小学校、中学校、入学式、卒業式に限らずですが、文字だけではなくて、卒業式のこの配布でしか見られない**「限定くるりん」**のイラストのようなものがあつてもいいのかなという提案を、数年前も申し上げたのですがどうでしょうという質問です。

○飯田教育長 澤田学務課長、いかがですか。

○澤田学務課長 小柳委員がおっしゃった**「限定くるりん」**のイラストというのはなかなか、難しいかなとは思っているのですが、絵やイラストに関しては載せることはできるかなとは思いますが、この件に関しても少し検討させていただきたいと思います。

○飯田教育長 ほかに、小学校の入学式の文案についてはいかがでしょう。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、中学校の入学式の文案について、いかがでしょう。

岡村委員。

○岡村委員 説明ありがとうございます。

4行目に「中学校では、これまでとは異なり」とありますが、「異なり」というと壁というか、少し違う世界に入っていくということで、大変そうな印象を与えてしまう感じがしました。中学校で新しい環境の生活がスタートしますと、教科が増えたりとか、部活があつたりもしますが、「異なり」を外してもいいかなと思いました。

○飯田教育長 岡村委員の提案については、また検討いただくということで、ほかの委員の皆さま、いかがですか。

小柳委員。

○小柳委員 小学校の入学式の文案では、「学校のまわりにも応援してくれる人がたくさんいます。」という文言があつて、周りの人に、助けてもらえるのだなということが分かるのですが、中学校の入学式の文案になると、当たり前なのかもしれないのですが、自分で考えて自分でやってね、みたいな印象を受けます。

それで、よし、頑張って自立するぞとなるような子はいいいのですが、どうしようと少し不安になっている子には、困ったときは先生でも地域の方でも助けてくれる人がいるから、いつでも話してみてくださいみたいな内容が1つ入っているだけで、安心する子が増えてくれたらいいなと感じますが、いかがでしょうか。

○飯田教育長 入れるとしたら、どの辺りに入れますか、小柳委員。

○小柳委員 11行目の「活躍されることを心から期待しています。」の後、12行目の「保護者の皆様」の前でもいいのかなと思います。

○飯田教育長 ほかに委員の皆さま、いかがですか。

堀切委員。

○堀切委員 多分前回はそういう文言がどこかに入っていたような気がします。

毎回このお祝いの言葉について、配布が必要なのですかとお聞きしているのですが、もともとは教育委員の中から誰かが式典に行って、式の中で読み上げるものだったのだと思うのです。そのためか、全体に向けて読み上げられているものが印刷されている感じが残っていて、自らを振り返りながら静かに読むような文章ではなく、手元にわざわざ紙がある理由があまりないと感じます。せっかく配るのだったら、やはり個人の心に寄り添うようなことが書いてあると、配る意味があるかなと思うので、たしか前回の文案には書いてあったかと思うので、そちらを追加していただけると私もうれしいなと思いました。

以上です。

○飯田教育長 澤田学務課長、いかがですか。

○澤田学務課長 確かに昨年の内容には、そういった文言が入っていたかと思いますので、昨年の文案を参考に検討させていただきたいと思います。個人の心に寄り添うような一文が入るような形で考えてみたいと思います。

以上です。

○飯田教育長 教育委員の皆さま、ほかにはございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 全体でご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、卒業式・入学式、「お祝いの言葉」の文案については、本日の協議は以上としまして、2月に修正案をお示するというところでよろしいでしょうか、澤田学務課長。

○澤田学務課長 はい。本日はご協議いただきましてありがとうございます。

昨年一昨年と同様に、本日の協議内容を持ち帰っていただいて、1月23日金曜日までに、ご意見や修正点などがありましたら、教育総務課にメール等でご連絡いただければと思います。その後、ご意見等を反映させた文案を2月の教育委員会定例会でお示したいと考えていますが、いかがでしょうか。

○飯田教育長 教育委員の皆さま、よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 本日いただいたご意見、ご質問を踏まえた上で、教育委員会事務局で整理していきたいと考えております。

それでは、1協議（1）卒業式・入学式「お祝いの言葉」文案について、はここまでいたします。

◎報 告

（1）令和7年第4回立川市議会定例会報告について

○飯田教育長 続きまして、2報告（1）令和7年第4回立川市議会定例会報告について、に

入ります。

齋藤教育部長、説明をお願いいたします。

○齋藤教育部長 それでは、令和7年第4回市議会定例会についてご報告いたします。

資料をご覧ください。

まず、議会日程につきましては、令和7年11月28日から12月18日までの21日間の会期で開催されてございます。詳細は、6ページの会議日程表をご覧ください。

次に、2、一般質問をご覧ください。

一般質問は19人から通告があり、うち教育部に関連した質問は、1ページの表のとおり9人の議員からお受けしました。

表に沿って、主な質疑についてご紹介させていただきます。

まず、2番、あべ議員からは、多文化共生に関連して、外国籍の子どもの学校現場の状況などについて、を問われました。日本語が理解できないことを理由に不登校になるという児童・生徒の報告は受けていないが、不登校の要因は多様化、複合化しているので、外国籍の不登校児童・生徒に対しては、スクールソーシャルワーカーやたちかわ多文化共生センターとも連携して対応をしていくこと、また、学校現場での日本語教育は、単に日本語の読み書きを教えることだけでなく、学校生活全体を通して、子どもたちが学習や生活に必要な日本語を身につけられるように支援する教育活動と認識し、通訳協力員や1人1台端末等のICTの活用、人権教育を踏まえた子どもたち同士の豊かな関わり、たちかわ多文化共生センターなどの関係機関との連携を通し、学びの保障や学校適応のための支援をしていくことなどをお答えいたしました。

次に、3番、頭山議員からは、工事中の砂川学習館の今後の見通しや対応を問われ、工事完了後の展示の制作や開設準備等に1か月程度の期間を要するので、工事完了の遅れが全体スケジュールに影響を及ぼし、供用開始時期も遅れること、砂川学習館のほか、ひまわり子育てひろばやコミュニティ砂川の関係部署と連携し、開設準備作業等に係る期間の短縮について検討していくこと、供用開始時期などのスケジュールが整理でき次第、丁寧に周知することなどをお答えしました。

このほか、昨今の熊被害等の状況を踏まえ、八ヶ岳山荘のほか、学校での校外活動での安全確保策についてご説明しております。

次に、4番、伊藤議員からは、不登校児童・生徒にどう向き合っていくのか、現状や課題を総括的に問われました。具体的には、早期の段階から丁寧な状況把握を行う体制づくりを進め、組織的に対応するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、多方面から子どもの状況を把握できる仕組みを整えていること、子どもとの関わり方では、子どもに対し登校を一方的に促したり、復帰を急かしたり強制するのではなく、子どもの安心感を最優先に、成功体験が積み重なるよう配慮し、丁寧に聴き取る姿勢を重視していること、登校への意欲が見られるようになった際には、段階的かつ無理のない方法を、本人や保護者と相談しながら柔軟な対応を図っていること、オンライン面談やICTツール

を活用し、子どもがつながり続けられるよう工夫していること、そして、教育委員会では、不登校児童・生徒を一律に学校へ戻すことを目的とするのではなく、どこにいても安心して学び、成長できる環境を保障することを目指して支援の充実に努めていることなどをお答えしております。

次に、7番、江口議員の質問には、サイバーセキュリティーに関連して、学校で児童・生徒に貸与しているタブレット端末の安全確保策をご説明しております。

次に、10番、山本洋輔議員からの質問には、本市の災害支援の取組のうち、能登半島地震に際し、電子図書提供という教育的支援を行った実績や背景などをご説明するとともに、今後、同様の支援については、被災地の状況や使用している電子図書館システムなどを勘案し、その都度検討することをお伝えしております。

次に、12番、門倉議員からは、若者・こども支援に関連して、先進市での奨学金返済支援の取組を紹介いただき、本市での実態把握や他市の取組への評価を問われました。本市が調査を実施しての実態把握は行っていないこと、他市の取組では、若年層の定住促進や市内企業の人材確保などを目的としている中で、課題もあると聞いているといったことをお答えしております。

次に、14番、原議員からのインクルーシブ教育を見据えた特別支援学級の充実に求める質問には、まず、第4次特別支援教育実施計画にインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進等について、基本的な考え方や取組の方向性等をお示ししており、計画の推進とともに、本市の取組の方向性等について、分かりやすい情報発信に努めていくことのほか、市ホームページでの情報発信において、情報が体系化されておらず、保護者が知りたい情報に簡単にアクセスしにくい状況であるとの認識の下、関連情報のつながりが見えるような、保護者にとって分かりやすい情報発信に努めることをお答えしました。

また、特別支援学級同士の横のつながりが不十分で、現場の教員から情報交換の場が欲しいとの声があることのご指摘をいただき、教員研修などの機会を確保しており、情報収集に努めている教員も多いことをお答えしております。

一方で、自閉症・情緒障害特別支援学級については、設置校が少ないため情報が集まりにくいことが課題であるとの認識の下、今後設置する学級における情報交換の場については、当初は教育委員会主導で設定していくことも含め、校長会と調整を図っていくことなどをお答えしました。

次に、17番、高島議員からは、魅力ある学校づくりについて問われ、魅力ある学校づくりとは、子どもが意欲を持って学び、保護者や地域から信頼され、教職員がやりがいを感じながら教育活動に取り組むことができる学校を実現することであると考えていること。その実現に向けては、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、ICT機器を活用した個別最適な学びの充実に努めるとともに、基礎学力の確実な定着や、探究的な学びや地域と連携した体験活動の充実に努めていくこと、また、いじめ、不登校対策には、児童・生徒の心の

ケア体制の充実を図り、安全で安心な学校環境をつくっていくこと、働き方改革を進め、教職員が子どもと向き合う時間を確保できるよう環境を整備していくことなどをお答えしました。

このほか、東京都教育委員会が不登校対応として取り組むチャレンジクラスについて説明するとともに、令和8年度に本市においてチャレンジクラスを設置する予定はないが、今後の設置に向けて、既に設置している地区からの情報を収集しており、課題整理や検討を進める準備をしていることなどをお答えしております。

最後に、19番、中山議員からは、引き続き、「朝の小1の壁」の解消に向けての取組状況などを問われ、他自治体の取組状況を参考に事業実施に向けた検討を進め、事業の概要を小学校校長会でお示しし、学校現場からも一定の理解を得られたことのほか、モデル校2校の選定を進めたことなどをお答えいたしました。

一般質問の説明は以上となります。

次に、3、文教委員会についてご説明いたしますので、15ページをご覧くださいと思います。

様式2のとおり、教育部からは項番の2番から11番までの10件について報告を行いました。報告事項については、これまでの教育委員会定例会等において協議や報告等を行ったものとなりますので、説明を割愛いたします。

所管事項質問は2名の委員からご質問をお受けしました。永元委員からは、地区図書館での新聞の配置について、原委員からは、英語スピーキングテストやエデュケーションアシスタントについてのほか、今後配置を予定しているICT支援員についての質問がありました。

2ページにお戻りください。

次に、4の議案審議をご覧ください。

まず、11月28日審議の、議案第111号と第112号については、（仮称）立川市砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設建替え工事の工期限を延伸する変更契約を令和7年10月31日付けで専決処分したものとなります。

令和7年10月31日までの工事完了が困難であることが判明し、受注者との協議を踏まえ、令和8年1月30日に工期を変更しております。

次に、令和7年度立川市一般会計補正予算（第8号）の教育部関連についてご説明いたします。

学務課の歳出のみとなっておりますが、こちらは令和8年度に学級数の増加が見込まれることなどから必要となる、机や椅子、電子黒板などを整備するものとなります。

次に、2、12月18日審議の補正予算、令和7年度立川市一般会計補正予算（第9号）について、でございます。

本案は、年度途中における臨時的な対応のほか、繰越明許費制度を活用して、修繕や工事、備品購入等を一部前倒しで予算化するなど、令和8年度当初予算と一体的な対策を講じるための補正予算となります。

同様の理由によるものは説明を省略し、一部特徴的なものをご説明いたします。

歳出の項目でご説明いたします。3ページにわたりますが、教育総務課分では、教育総務課の項目の最後から2番目、3番目の部分、第二中学校防球フェンス等移設工事設計委託料は、学校が隣接する都市計画道路整備により道路後退が必要となることから準備するものでございます。第二中学校教室等改修工事は、学級数の増加に対応するものとなります。

学務課分の2つ目と4つ目で、小中学校の就学援助費の部分でございますが、こちらは生活保護基準の改正に伴い、入学準備金を増額するものとなります。

指導課分は、報酬単価の改定に伴う所要額を補正するもの。

学校給食課分は、令和8年度予算の前倒し対応にはなるのですが、学校の配膳室の暑さ対策として、スポットクーラーを購入するものでございます。

生涯学習推進センター分では、3つ目、旧健康会館受変電設備改修工事は、高松学習館を含む建物の設備改修となるものですが、入札の不調を受けて事業費を増額するものでございます。4つ目の柴崎学習館舞台照明設備改修工事は、照明をLED化するもので、既に電灯がかなり切れているような状況があって、早期に改修が必要、3月に使う予定があるというところで、この時期に改修工事を予算化させていただいてございます。5つ目の西砂学習館事務室改修工事は、西部連絡所の廃止に伴い、事務室のレイアウトを変更するもので、前に戻りまして、1つ目の地域学習館維持管理修繕料は、関連して看板表示を更新するものとなります。

4ページにわたる最後の図書館分でございますが、光熱水費の不足分への対応以外は、それぞれ令和8年度予算の前倒し対応となります。

なお、予算執行時期が今年度から翌年度にわたるものについては、それぞれ別途繰越明許費の補正をお願いいたします。市の予算については基本的には単年度の予算になっておりますが、次年度にまたがって予算を執行するための予算措置として、繰越明許費制度というものを活用させていただいております。

5ページの債務負担行為にございます小学校水泳指導送迎バス借上料は、令和8年度の第六小学校における水泳指導の授業展開に向けて、また、デジタル教科書購入は、年度当初から利用できるようにするため、冷凍庫購入は、項目が小中学校分でそれぞれありますが、熱中症対策としてネッククーラーなどを冷やすための冷凍庫を小中学校へ令和8年度早期に配備するために債務負担行為の補正を行うものとなります。

こちら先ほどの単年度主義の予算執行において、当該年度中に次年度以降にわたる契約行為をするための制度が債務負担行為となります。実際の予算については令和8年度予算書のほうに計上いたしますが、今年度中に契約行為等を準備できるようにするための予算措置となっております。

最後に、契約議案でございます。

議案第133号と第134号の2件の工事請負変更契約は、それぞれ改修工事において設計内容の条件等に変更が生じたことから、契約額を変更するものとなります。

議案はそれぞれ原案どおり可決されております。

長くなりましたが、報告は以上でございます。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 ご説明ありがとうございます。

2つ質問があります。

1つ目は、4ページで、スポットクーラーを小学校と中学校で買う予算がついていますよね。次年度には冷凍庫を購入すると5ページの債務負担行為の欄に書いてあるのですが、スポットクーラーについて、1台あたりの金額が高いようなイメージがあるのですが、冷凍庫購入の予算の方が高いということは、冷凍庫は各クラスに1台設置するのでしょうか。スポットクーラーを何台買って、冷凍庫を何台買うのか、もしイメージがあれば教えてください。予算だけ見ると、冷凍庫購入にはすごくお金がかかる、スポットクーラー購入よりかかるのだなと思ってしまい気になりました。

あと、もう1つの質問は、15ページの所管事項質問で、2名の委員の方から質問が来ていると思うのですが、どういった質問だったかというのを、もし伺えれば教えてください。

以上2つです。

○飯田教育長 では、スポットクーラーについて、いかがでしょう。

臼井教育総務課長。

○臼井教育総務課長 まず、スポットクーラーに関しましては、空調機が故障したような場合に緊急的に使うということで考えていまして、常時使うというイメージではなく、あくまでも緊急的な使用に対してで、今回20台購入します。

令和7年度も20台購入したのですが、今年の暑さ対策で故障したり、あるいは十分に冷えなかった教室ですと、大体1教室に2台ずつ使いますので、実際に20台購入しても10教室分ぐらいしか賅えないのです。

今年の夏も、申し訳ないですが、ひっきりなしに貸出し要望があったのですが、足りなかったため、来年度も追加で20台購入することにいたしました。20台といっても大体10教室分なので、全ての学校に行き渡るものではなくて、繰り返しの説明になりますが、あくまでも緊急的な使用というふうにスポットクーラーは捉えていただきたいと思います。

○飯田教育長 澤田学務課長。

○澤田学務課長 冷凍庫についてでございます。

冷凍庫につきましては、小中学校に希望台数等の調査をかけて、回答をいただきました。まず全校配備としてはポータブルの冷凍庫、校庭や体育館で使用することを想定したものを、各校に2台ずつ、確実に配備するという考えでおります。

それから、教室には、2つのタイプの冷凍庫、1つは棚などに置けるような30リットルぐ

らいの小さな冷凍庫、もう1つは直置きができる60リットルぐらいのタイプの冷凍庫の2つからどちらかを選択していただくようなことをしました。最終的な台数としては、先ほど申し上げたポータブルの冷凍庫が56台、棚に置けるようなタイプの30リットル程度の冷凍庫が、小学校112台、中学校25台、教育支援センターにも2台ということで139台、もう1つは直置きの60リットルぐらいのタイプの冷凍庫なのですけれども、こちらは小学校が62台、中学校が42台、合わせて104台、合計すると299台というような台数を今回予算要求しているという状況になります。

以上です。

○飯田教育長 齋藤教育部長。

○齋藤教育部長 少し補足させてください。

今回、冷凍庫については非常に整備規模が大きいというところで、その分子算が大きいというところは今、ご理解いただけたのかなと思います。

あわせて、補足したい部分とすると、今回全ての学校に配備はしますが、学校ごとに整備の内容については若干差がございます。

まず、小学校、中学校で、お子さんの年齢も違う、また、運用についても各学校の児童・生徒数、学級数についても差がある、あるいはそういった物品を配置するようなスペースの課題等々もありますので、今回予算を要求する前段で、各学校の状況もお聞きしながら、教育委員会としての全体の考え方の整理もした上で、澤田学務課長からご説明させていただいた台数と内容について、今回予算化して、来年度、夏の暑くなる前の時期には配備をしていきたいというところで、今回12月に補正予算を計上させていただいたということになります。

以上です。

○飯田教育長 では、所管事項質問の内容について、黒島図書館長。

○黒島図書館長 まず、永元委員からの市の図書館の新聞購読についてという質問でございます。

メインの内容としましては、高松図書館で東京新聞が令和7年度から購読中止になったことはなぜなのかということに関連しまして、新聞購読はどのように決めているのですかというご質問、それから、地区図書館は指定管理者が運営しておりますが、市とどのような関係で購読を決めているのか、今後も同じようなことがあるのかといった質問でございます。

回答といたしましては、市としては、図書館資料収集基本方針ですとか選書基準等に基づいて、需要と予算に合わせて収集しているもので、今回高松図書館で東京新聞が購読中止になったのですけれども、利用者アンケートや利用状況を踏まえてそういった決定をしているということ、今後、物価上昇等もございますので、予算との兼ね合いで、市の図書館全9館のバランスを見ながら、新聞等が購読中止になる可能性はあるというような答弁になってございます。

以上です。

○飯田教育長 続いて、では、寺田指導課長。

○寺田指導課長 指導課には2つ、所管事項の質問がございました。

原委員から、1つ目が、東京都教育委員会が実施しております英語スピーキングテストについてのご質問がありました。

英語スピーキングテストの受験会場について、不受験者の数、また、困難だとか課題の声が市教育委員会に届いているかどうか、それから、英語スピーキングテストに対する体験会を今回設定しておりますので、そちらに対する問合せ等のご質問がありました。

まず、受験会場につきましては東京都が設置しております、同じ中学校の生徒が同じ会場で実施できるように、できるだけ近くの会場で受験できるように割り当てられてございます。

また、報道上是様々不備等の報道もございましたけれども、本市の教育委員会に対しまして、英語スピーキングテストに関する問合せ等は一切ございませんでした。

また、都の不受験者数というのは、受験申込みが7万5,000件に対して受験者数が6万8,000人なので、その差が不受験者になるとは思いますけれども、市としての不受験者数の把握は市の教育委員会ではしておらず、東京都教育委員会で把握しているものでございます。

それから、体験会に関してですが、直接中学校への問合せや市教育委員会への問合せはございませんでした。市内の中学校においては、一部実際に使う機器で体験したいという申し出があったので、実際の機器を使用して体験会を行ったという報告がございます。

2つ目がエデュケーション・アシスタントとあって、東京都が配置事業を行っております、その財源を使って立川市でも実施しております。小学校1年生から3年生までの学年のうち、いずれか1学年について、担任の業務を補佐し、授業の質の向上や負担軽減をしている取組でございます。学級数に応じて18学級以上は2名配置、それ以下では1名配置というところで、おおむね全校で配置しておりますが、今1校だけ事情がございまして配置できていない学校もございます。

こちらの活用に関しましては、教員からも、本当に業務の改善につながっている、子どもたちの支援に直接対応できているという声があり、非常に成果がでている取組としてご報告させていただきました。

以上、2つです。

○飯田教育長 澤田学務課長。

○澤田学務課長 もう1つは、ICT支援員について、質問を受けております。

こちらにつきましては、令和8年4月から教育情報システム更改に伴い、教員の授業の支援を行うためのICT支援員を新たに導入するという内容になっております。

質問としては、ICT支援員を新たに導入する目的や、解決したいと捉えている課題は何かというところ、それから支援員の任用形態、支援の頻度、支援時間の目安、支援員の業務範囲についてどこまで想定しているのかなど、多種にわたって質問を受けております。

回答としては、新たに導入しようと考えた目的や課題については、今後、よりICTを活用して児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善を進めていくためには、

小中学校の教員にICTの活用による指導力に差が生まれないようにすることが大切だといったところで、ICTを活用した指導力の向上というのが解決したいと捉えている課題だとお答えさせていただいております。

このICT支援員は、4名で1校の割合で支援員を確保して各学校へ巡回をするといった内容で進めていくことになっております。

支援頻度の目安については、年間を通じて週1回を目安に、平日の午前8時から午後4時45分までの対応を想定したものとなっております。

ICT支援員の業務範囲については、授業のサポートは当然ですが、教職員の依頼を基に、教材の作成のサポート、システムの操作等のレクチャー、教員用のマニュアル作成などが主な業務内容ということでお答えをさせていただいているところです。

以上です。

○飯田教育長 よろしいですか、小柳委員。

○小柳委員 ありがとうございます。

○飯田教育長 ほか、いかがでしょうか。

岡村委員。

○岡村委員 説明ありがとうございました。

2つあり、1つは質問ではなく感想です。輪島市の子どもたちへの電子図書サービスの提供の取組は、いい取組だと思います。こんな取組を行っていたのだよと皆さんに知らせてほしいし、今後も続けてもらいたいなと思いました。

それから、チャレンジクラスについて、以前、六中に勤めていた頃に、相談学級というのがあり、いい形でできていたので、今後検討するということなのではけれども、ぜひ設置に向けて進めていただきたいです。質問は、教育支援センターとチャレンジスクールは、似たような感じもするのではけれども、どういうふうに違うのか、今後統合するのか、または別個に新しくつくるのかとか、これから検討する段階でしょうけれども、分かる範囲でお聞きしたいなと思いました。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 まず、教育支援センターとチャレンジクラスの大きな違いとしては、教育課程を作成して教科の授業をするということが大きな違いかなと思います。

今、教育支援センターでは、非常勤教員や指導員等で居場所づくりをメインとして対応しているところですが、そこで学習サポート等は実際に行っております。ただ、教育課程をしっかりと組んで授業として行っているところとはまた違いますので、チャレンジクラスはそれが実現できるようなクラスになります。個に応じた教育課程編成ができるので、授業時数を少し減らすなどの工夫もできるような状況でございます。

以上です。

○飯田教育長 岡村委員。

○岡村委員 よく分かりました。六中で行っていた相談学級という取組が、飯田教育長はご存

じかもしれませんけれども、昔ありました。教育課程を組んで、いろいろな教科の先生が講師に來られて、他の子どもたちとは出入り口も別で複数の学校から不登校の児童や生徒が集まって、朝ゆっくり来て早く帰るという取組の経験があるのですが、そういった経験を生かすといいかなと思います。

○飯田教育長 岡村委員のおっしゃるような具体策が都の政策として今度下りてくるのがチャレンジクラスです。岡村委員。

○岡村委員 では、取組内容は似たような感じですか。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 対象者が少し違うかなと思いますが、形態は似ています。市内でいくつかの学校にしか設置できないということです。

○飯田教育長 岡村委員。

○岡村委員 どうもありがとうございました。よろしくお願いします。

○飯田教育長 ほかにございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ないようでございます。これで2報告（1）令和7年第4回立川市議会定例会報告について、の報告及び質疑を終了いたします。

次に、その他に入ります。その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 その他はないようでございます。

◎閉会の辞

○飯田教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回、第2回定例会は、令和8年1月23日午後1時から101会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和8年第1回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後2時28分

署名委員

.....

教育長